

九州歯科学会雑誌投稿規定

九州歯科学会雑誌(以下、本誌)は、基礎・臨床研究および歯学・医学教育に関連した総説、原著、臨床報告(症例報告および症例シリーズ)、教育報告、トピックスおよびその他に分類される論文や記事を掲載します。論文は複数の査読者による査読を受け、最終的に編集長が掲載の採否を決定します(トピックスとその他は査読なし)。論文が掲載決定(承認: アクセプト)されたら、順次J-Stageにオンライン掲載されます。

冊子体としては、年4回(1号: 3月25日, 2号: 6月25日, 3号: 9月25日, 4号: 12月25日)発行されます。発行日までにオンライン掲載された論文と記事は、1つのPDFファイルにまとめられ、学会雑誌として会員へメール送付されます。

本誌へ投稿するには、すべての著者が本学会会員である必要があります(依頼原稿は除く)。内容は未発表の和文または英文とします。所定のカバーレターと図を含むWord原稿ファイルをメールにて投稿してください(雑誌事務局: kds.zasshi@gmail.com)。原稿ファイルが大きすぎて送信できない場合はカバーレターのみ送信し、原稿ファイルの送付方法について雑誌事務局と相談してください。郵送での紙面原稿は受け付けません。

本誌へ投稿を考える際には、カバーレターと各種論文テンプレート(ひな形)を学会ホームページから事前にダウンロードしてください。コピー & ペーストではWord書式が崩れやすいので、テンプレートに直接書き込むようにしてください。学会ホームページの「投稿の手引き」および「患者プライバシー保護に関する指針」に必ず従ってください。ヒト実験および動物実験では、それぞれヘルシンキ宣言とNIHガイドラインに準拠し、各所属研究機関の倫理委員会にて承認を得ていないといけません。許可番号やインフォームドコンセントについて必ず論文に記載してください。

初回投稿に不備があった場合は原稿が差し戻されますので、訂正して投稿をやり直してください。不備がないと原稿は受付され、論文番号が付与されて編集長、共同編集員、査読者へと原稿が渡されていきます。受付され

てから責任著者への査読コメントが返って来るのに3週間は要します。査読コメントの内容によって2週間から半年の返答(リバイス)期限が設定されます。期限内に修正し、再投稿してください。掲載が承認されると10日程で校正用PDFが届きますので、48時間以内に返信してください。校正は1回のみで、内容の大幅な変更は認められません。不備なくメール投稿された日付を受付日とし、掲載承認のメールが送付された日付を受理日とします。

校正後の確定ページ数を基に、事務局から掲載料(APC: Article Processing Charge)を請求いたします。指定の銀行口座へ迅速に振り込んでください。振込確認後、J-Stageに論文が公開されます。依頼原稿に関しては、規定のページ数までは原則無料です。超えたページ数に関しては、掲載料が発生することがあります。著者は、セルフアーカイブポリシーに基づき、掲載論文の最終出版版を、本誌での掲載後すぐに(エンバーゴ期間なし)、所属機関のリポジトリや公共リポジトリ等に公開することができます。

本誌は、2026年より、オープンアクセス方針としてクリエイティブ・コモンズ・ライセンスのCC BY-NC 4.0を採用します。該当日以降に投稿・受理された論文は、事前の許可なく再利用が可能です。著作権は本誌に帰属します。CC BY-NC 4.0ライセンスは、著者名・論文タイトル・掲載誌名・DOI等の適切な出典表示を行い、非営利目的である限り、複製・頒布・再利用が自由に可能です。一方、2025年以前に掲載された論文の著作権は本誌に帰属し、再利用等には本誌への事前許諾が必要です。ただし、著者自身による再利用については、本誌への申請は不要であり、著者の裁量で行うことができます。事前許諾は、学会ホームページから転載許可申請書をダウンロードし、必要事項を記入して雑誌事務局にメール送信し、許諾を受けた後に再利用することができます。

本投稿規定は、編集委員会で審議の上、理事会で承認されたものです。